

第10回なら県民電子会議室運営委員会議事録

1. 日時:平成20年2月24日(日曜日) 13:30～16:30
2. 場所:奈良県庁舎主棟5階 第51会議室
3. 出席者:奥家孝彦、小山正樹、峠 春樹、林 正泰、掘真寿美、鉄田憲男、
三宅基之、大西 弘、遊津隆義、多田充朗、寺村 聡、坂田安男、
柳沼壽徳、木谷延高、山田順一
代理/オブザーバー:2名
4. 議題:
 1. 委員長挨拶
 2. コーディネーター報告
 - (1)ストップ温暖化を考える
 - (2)世界に開かれた奈良づくり
 - (3)みんなで教育について語ろう
 3. 県の取組みについて
 4. 事務局報告
 5. 次期テーマについて
 6. 電子会議室の運営について
 7. その他
5. 議事の経過の概要
 1. 委員長挨拶
奥家委員長より、当会議室も開始から20ヶ月を経過し、評価は種々あるが、継続できたことを喜び、コーディネーター、事務局の労に感謝する。来期以降の継続に向け、量と質の向上を目指すと共に、もっとウイングが広がることを期待する。との開会の挨拶があった。
 2. コーディネーター報告:各テーマについて下記報告があった。
 - (1)ストップ温暖化を考える(詳細添付資料)
 - ・現時点で、投稿数は160件
開始当初、多くの投稿があったが、12月からは余り増えていない。
 - ・当初の期待より少し議論の環が小さいが、内容は家庭から地域に亘る広範囲に言及され、県の実状を的確に捉まえた議論ができています。
 - ・投稿に至っていないが、会議室を見ている人は多いようで、投稿に結びつける更なる工夫と動機付けが必要。
 - ・具体的な提案として、1)「自転車の町、エコ奈良」の実現、2)「まるごと一日マイカーを使わない日」、3)環境対策は街づくりから、4)省エネライトアップと自然エネルギーの導入、などがある。
 - ・排出権取引の提言で素早く県の見解が示されたが、さらに議論が深まり、行政から

のフィードバックも含んだ有益な議論事例となることが期待される。

(2) 世界に開かれた奈良づくり(詳細添付資料)

- ・投稿数約180件
- ・内容は身近な話題から長期的且つ戦略的な話題まで幅広い議論がなされているが、テーマに直接的に沿った十分な議論展開に至っていない。
- ・具体的な提言に結びつけるには更なる努力が必要。
- ・内容は18項目に大別されるが、関係部門との協力で具体化できそうなものとして、
 - 1) 観光協会：・近郊都市との連携による新たな観光開発、
 - ・ゆったりとした観光プログラムの開発を
 - 2) 行政関係：・美都としての奈良を目指そう、・外国のメディアの招待
 - ・海外から来てもらうためのより豊富な情報提供、
 - 3) 教育関係：・有能な外国語ガイドの養成、・教育者の国際交流
- ・残り期間も考慮し、具体的行動に結びつきやすいものに絞り込み、提言につなげたい。

(3) みんなで教育について語ろう(詳細添付資料)

- ・投稿数233件
- ・前期に引き続いた実践編として「地域の子どもを地域で育てる」ために必要な協働にテーマを絞り議論
- ・特集企画した「学校に行こう！」に多くの書き込みが見られ、会議室の議論が実践に結びつく成果があがっている。
- ・学校やPTAにチラシ等の配布の広報、宣伝するも、書き込みは少なく学校が抱える課題を如実に語っているように思う。モデル校を指定した投稿促進が必要かも。
- ・議論は具体性に富むものが多く、特に学校支援地域本部については、国の施策の具体化以前から議論されていたこともあり、関心が高まっている。
- ・議論が行政や議会の中でもパブリックコメントの一種として取り扱いが検討され、今後の施策等への反映につながることを期待する。

3. 県の取組みについて

- ・提言に対する県の取る組については、関係部門からでてきているが、現在、予算との兼ね合いの調整を行っており、近々HPに掲載できる予定である。
- ・課題の県職員の意見参画、可能な情報の提供についての更なる検討と具体成功事例づくりへの協力について県への要請があった。

4. 事務局報告

広報活動、アクセス、登録、投稿の状況報告

5. 次期テーマについて

来期テーマ案についての検討経過の説明があり、新たな可能テーマ案と現行テーマの継続、更に関心の高い遷都1300年事業の関連を加えたテーマ案に絞り、3つのテーマとするか、自主テーマを1つ加えるかを含めて、コーディネーター選定などを考慮し、また、最終

調整を行い決定してゆくこととした。

6. 電子会議室の運営について

- ・トップページのレイアウトリニューアル
- ・登録しやすくすべく、個人情報の必須項目を減らし、ハンドル名、パスワード、メールアドレスのみを必須登録として残す方向で変更
- ・投稿からアラームまでの時間を現行2日から1日へ短縮
- ・バナー広告の新設の可能性を継続検討してゆく

上記の4点について、県の見解を今週中(2月末まで)にいただくことになった。

- ・登録者への情報提供、投稿促進を計るべく、メルマガ配信を計画、

7. その他

次回運営委員会を4月5日(土)に予定

以上。